Confidential

AIネイティブ組織を支えるAIガバナンス

Human-in-the-Loopを実現する3つの論点

AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 AI Management Research Institute. All rights reserved.



01

Confidential

我々について

- チームメンバー
- 会社紹介

© 2026 AI Management Research Institute. All rights reserved.

AI共創総研
AI Management Research Institute

会社概要

Confidential

AI共創総研
AI Management Research Institute



社名	株式会社AI共創総研
所在地 ※事業所	東京都文京区湯島4-1-16 Gate Cross HONGO 3F
資本金 ※転換前の資本を含む	52,000,000円
代表者	藤井 涼
主たる事業	AIガバナンスに関するコンサルティング・プロダクト開発, 監査に関するAI開発 等
主要取引銀行	三菱UFJ銀行, みずほ銀行, 日本政策金融公庫

© 2026 AI Management Research Institute. All rights reserved.

採択実績

Confidential

DEEPCORE

INCUBATEFUND

PARTNERS FUND

XTech Ventures

SCAP Saitama-City Accelerator Program

国内主要VCのプログラムに採択

AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 AI Management Research Institute. All rights reserved.

シードラウンドにて6,500万円を資金調達

Confidential

AI共創総研は2026年4月30日、シードラウンドにてPARTNERSFUNDおよび日本政策金融公庫から6,500万円を調達しました。



PARTNERS FUND

JFC 日本政策金融公庫

AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 AI Management Research Institute. All rights reserved.

チームメンバー①

Confidential







藤井涼 Fujii Ryo	山本昌史 Yamamoto Masafumi	坂田昌則 Masanori Sakata
代表取締役 CEO	**IT統制・スペシャリスト**	**シニアAIエンジニア**
• 元 あずさ監査法人 AI保証業務 • AIリスクアセスメント サービス開発 • 監査 × データサイエンス（5年） • AIスタートアップで 外観検査AI 開発 • 早稲田大学 基幹理工学部 卒	• 元 監査法人トーマツ（金融IT監査） • PayPay 内部監査 経験 • IT運用・セキュリティ出身 • 事業会社で 監査計画・推進 を担当 • 東北大学 工学部 卒	• 文科省 MIT派遣プログラム代表 • 大手製造業向け AI導入多数 • 企業研修・講師・登壇・論文執筆 • 東京大学 工学部・大学院 卒

開発者目線とガバナンス視点（監査を含む）の双方の知見を有したチーム

AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 AI Management Research Institute. All rights reserved.

チームメンバー②

Confidential

＋その他業務委託複数名









藤井祐汰 Fujii Yuta	古作祐真 Kosaku Yuma	三島浩一 Mishima Koichi	花島一颯 Hanajima Issa
コンサルタント・リサーチャー	**エグゼクティブアドバイザー**	**AIリスク・品質マネジメント顧問**	**コンサルタント・リサーチャー**
早稲田大学先進理工学部卒。大和証券投資銀行本部、エンジニア転身後フォースタートアップス・PayPayテックリード等を経験。	公認会計士。慶應義塾大学経済学部卒。あずさ監査法人にて監査・データアナリティクス、Digital Innovation部を兼務し監査DX等に従事。元日本公認会計士協会準会員会代表幹事総括。	リスクマネジメント歴30年以上のスペシャリスト。総合電機メーカー所属時は生成AI登場前からAIガバナンスの構築担当を務める。産総研AIQMIのWGでは主査務める。DynamicRiskM.代表。	東京大学工学部機械工学科。熱電変換・熱流体解析。日本伝熱学会での発表経験。AIリスク・セキュリティ研究とコンサルティングを担当。

開発者目線とガバナンス視点（監査を含む）の双方の知見を有したチーム

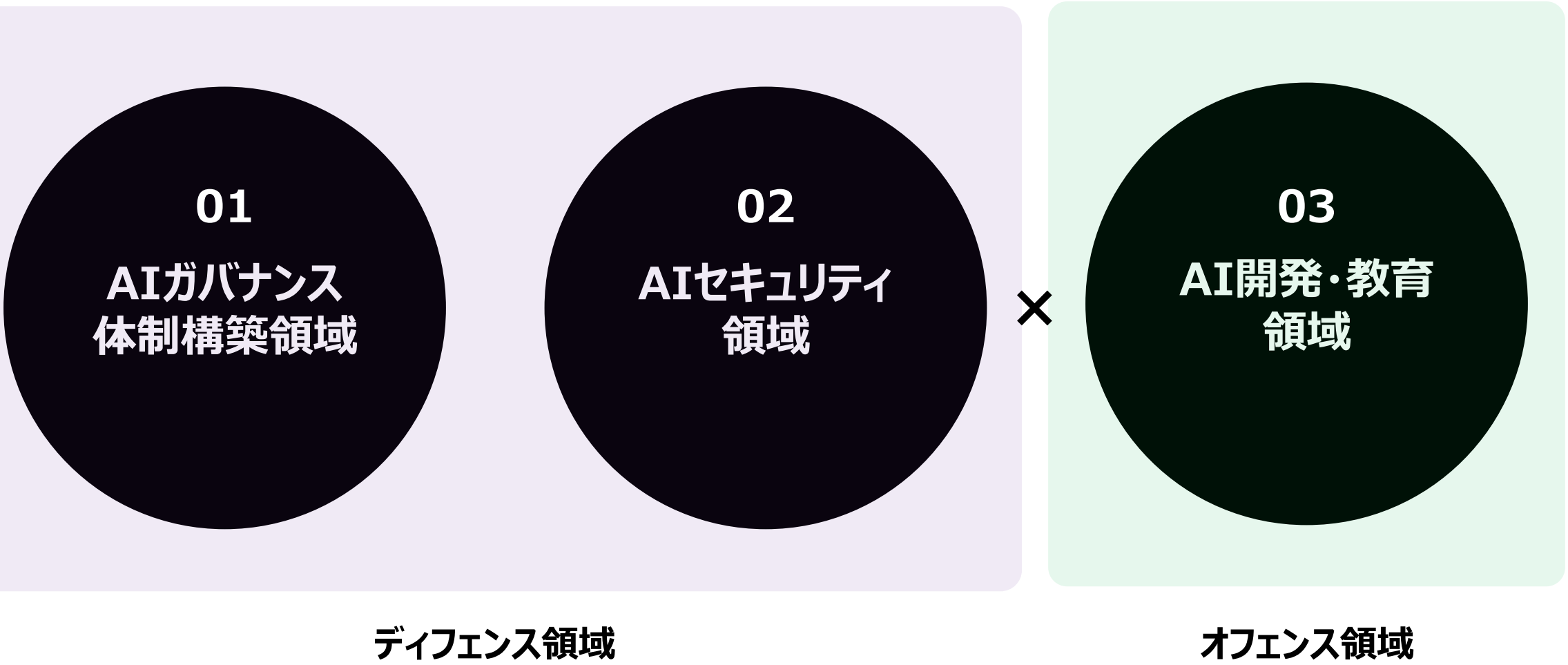
AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 AI Management Research Institute. All rights reserved.

事業領域：オフェンス領域とディフェンス領域の両面からAXをサポート

Confidential

全社AX化に向けた、AI開発環境の整備等のオフェンス領域とAIリスクを統制するためのガバナンス領域をサポート。



© 2026 AI Management Research Institute. All rights reserved.

ディフェンス領域

AIガバナンスの体制構築から運用サポート、監査対応支援までを伴走

Confidential

① 立ち上げフェーズ
現状把握と基盤づくり



社内のAI活用状況の把握

現状に即したポリシー・
ガイドラインの策定支援

全社的なAIリスク研修の実施
（リテラシー・リスク意識向上）

簡易的なガバナンス体制の構築
（役割・ルール・プロセスの整備）

② 運用フェーズ
運用体制のモニタリング



運用体制のモニタリング
（状況の定点観測・課題の可視化）

インシデント・リスク対応支援

ガバナンス運用の定着支援
（改善提案・運用支援）

③ 高度化フェーズ
統制の精緻化と人材育成



統制の組織体制の精緻化支援
（役割・権限・委員会等の設計支援）

ガバナンスプロセスの精緻な整備
（管理プロセス・基準・手順の整備）

ガバナンス部門向けの高度研修
（実務・リスク管理・フレームワーク等）

開発組織向け支援
・開発ガイドラインの策定支援
・ワークショップの開催支援

人材育成・スキル強化の支援

④ 評価・認証フェーズ
外部評価への対応



統制評価の実施支援
（自己評価・ギャップ分析）

外部監査・クライアントレビュー対応支援
（セキュリティレビュー・AIガバナンスレビュー等）

認証取得のサポート
（各種フレームワーク・認証対応支援）

外部クライアントとのコミュニケーション
プラン設計・同席支援
（レビュー同席・質疑対応支援等）

⑤ 改善フェーズ
継続的な改善と次のサイクルへ



統制と実態のギャップ分析
（AI活用実態・リスク・統制状況の評価）

改善提案の実施支援
（優先度付け・改善ロードマップ策定）

次のサイクルに向けた
ガバナンスの高度化支援

AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 AI Management Research Institute. All rights reserved.



02

企業のAIネイティブ化とは

AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.

AI技術の発展がビジネスの前提を再定義している

Confidential

	PAST	NOW	FUTURE
技術	- AIのIQは人間より低かった - 技術革新の速度は限定的	- AIのIQが人間を超えつつある - 技術革新の速度が加速	- AIがさらに高知能化・軽量化 - AIエージェントがビジネスに浸透 - 技術革新の速度が加速
ビジネス動向	- 道具としてのAI	- AI活用の幅を広げる準備	- AIを前提とした経営

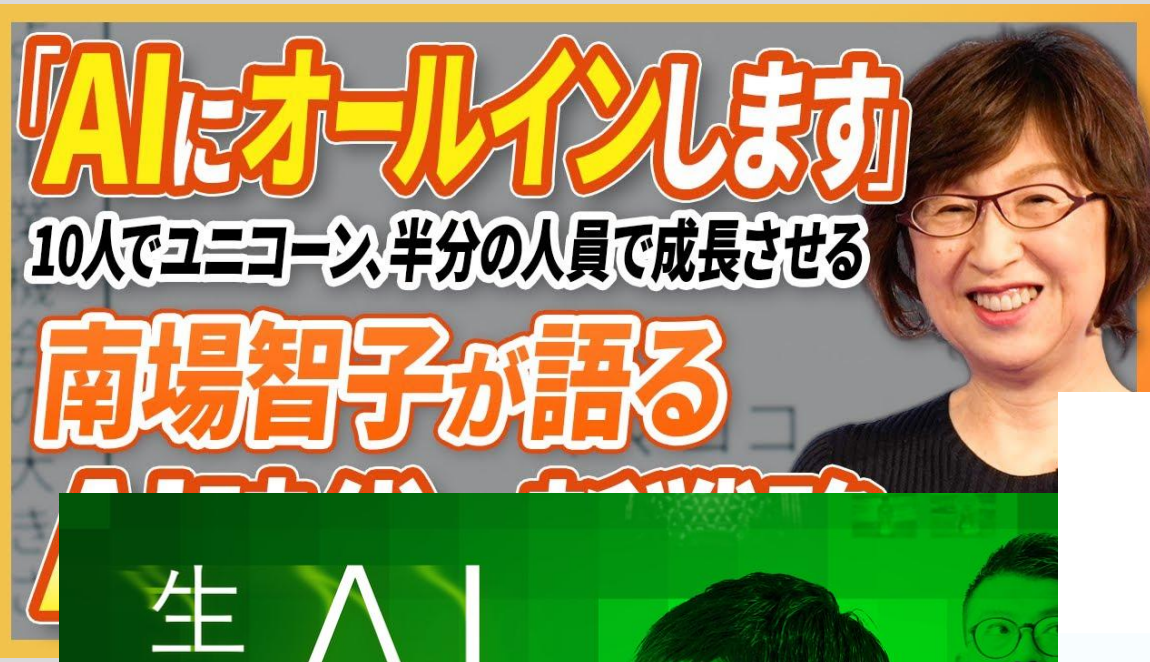
道具としてのAIからAIドリブンなビジネスへ

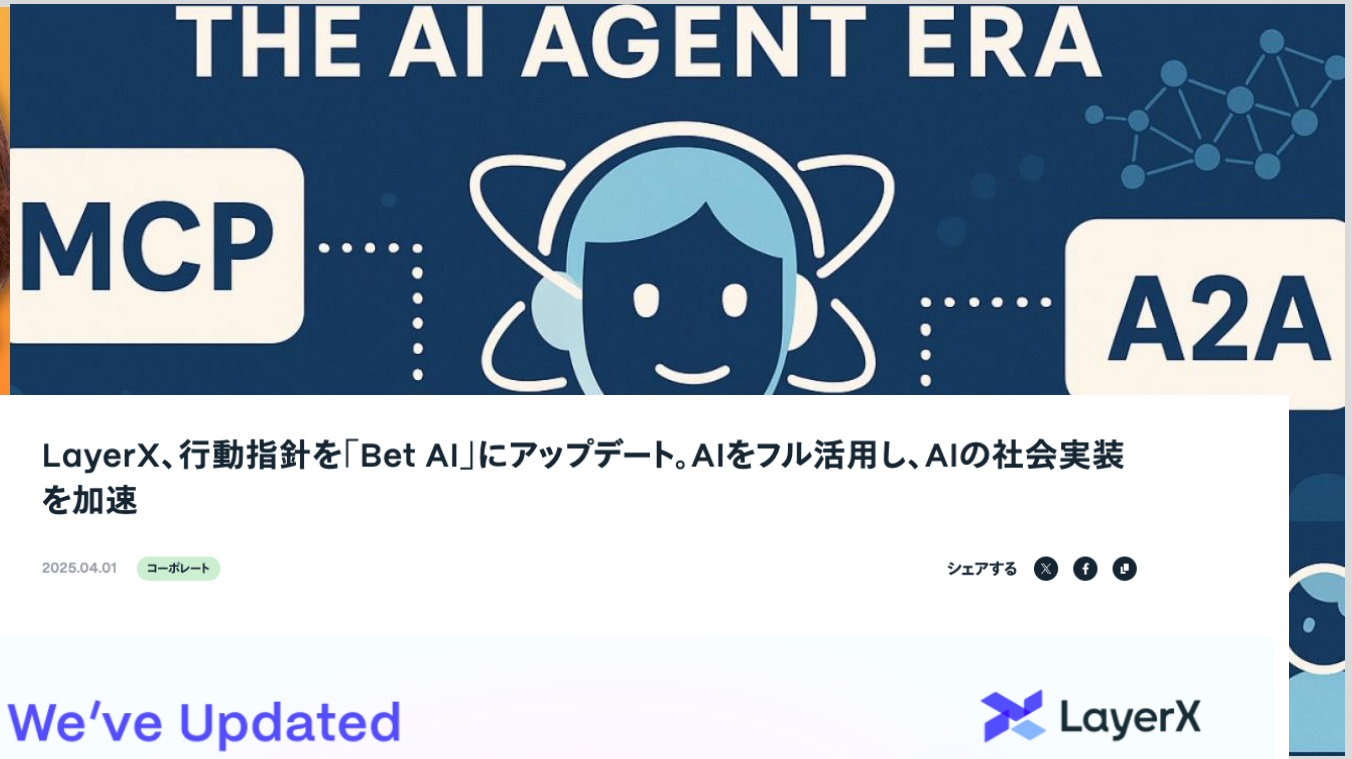
AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 AI Management Research Institute. All rights reserved.

AIに全振りをする企業も

Confidential









© 2026 AI Management Research Institute. All rights reserved.

AIネイティブ化とは

本講演での定義

AIを前提に、業務の流れと
人・AIの役割を設計すること

AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.

AIが業務の根幹に入る

例：調査報告を作成・共有する業務



AIが担う

情報収集、案の作成、
許可された範囲での処理

人が担う

目的・条件の設定、重要判断、
例外対応、最終的な責任

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.

事例：ShopifyはAI利用を組織の前提に



日常的なAI利用を
全社の基本的な期待に

公式記事では、AIコードエディタの
全社的な採用と、学びを共有する
実験文化を紹介しています。

AI活用を全社的に組み込む

出典・画像：Shopify公式記事（2025.10.28）｜shopify.com

AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.

AIネイティブ化に伴うガバナンス

01 **判断の統制**
重要な処理の前に、誰が何を確認するかを決める

02 **情報セキュリティ**
機密情報、アクセス権限、外部連携を管理する

03 **データガバナンス**
データの品質・来歴・利用条件を管理する

業務の再設計と、ガバナンスの設計を同時に進める

AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.



03

Human-in-the-Loop
人間の判断を業務に組み込む

AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.

Human-in-the-Loopを実現する3つの論点

01

判断の物差しをつくる

出力を評価する基準と、判断を支える根拠を揃える

02

承認のワークフローをつくる

重要な処理を止め、適切な人へ通知し、承認後に実行する

03

判断できる人を育てる

業務知識・検証能力・判断経験を、継続的に育てる

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.

01　判断の物差しと、説明可能な記録

評価基準

正確性：原典と一致しているか
妥当性：業務の目的に合うか
許容性：機密・権利・ルールを守るか

判断に必要な根拠

参照元・該当箇所・取得時点
判断理由・前提・不確実な点
ツール実行履歴・変更内容

評価基準と証拠を、レビュー前に揃える

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.

例：研究報告を社外へ共有する前のレビュー

承認者に、出力と判断材料をセットで渡す

確認する情報	レビューに渡す内容の例
実行する処理	研究報告を、指定された相手へ送付する
根拠・前提	引用元、該当箇所、取得日、確認できていない情報
変更・影響	送付先、添付ファイル、前回からの差分、公開範囲
判断結果	承認／差し戻し、理由、承認者、日時

業務例：実際の承認基準・公開範囲は組織ごとに定めます。

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.

02　重要な処理の前に、人の承認を入れる

例：AIが作成した報告を、外部へ送信する

AIが案を作成 ➡ 通知・実行を保留 ➡ **人が確認・判断** ➡ 承認後に送信

参照元・差分・影響を添えて通知

差し戻し → 修正 → 再確認

未承認・期限切れは実行しない。変更された内容は再承認。

AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.

03　AIの出力を判断できる人を育てる

承認者には、何が正しいかを見極める能力が必要

01
業務の文脈を理解する
目的、背景、適用条件、例外を説明できる

02
根拠を検証する
原典を読み、誤りや不足を見つけられる

03
判断して介入する
承認・差し戻しを選び、理由を説明できる

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.

問題提起：判断経験が育ちにくくなる可能性

AIが業務を行うことが前提になったとき

AIの案を受け取る ➡ **自分で試す機会が減る** ➡ **誤り・限界に気づきにくい**

判断の基準や、背景の理解が育たないまま
承認する役割だけが残る可能性があります。

今後の組織設計に関する仮説：AI利用の仕方と育成設計によって変わります。

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.

判断力を育てる仕組みを、業務に埋め込む

01

自分で判断してから、AIの案と比較する

AIを使わずに考える演習と、差分を説明する場をつくる

02

誤りを含む事例で、検証を練習する

原典照合、例外対応、差し戻しを経験する

03

専門家の判断を、組織の知識にする

判断理由・失敗事例・評価基準を蓄積し、定期的に更新する

人材育成とナレッジマネジメントを、一体で設計する

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.

AIネイティブ組織を支えるマネジメント

判断の物差し

基準と証拠を揃える

承認の仕組み

実行前に介入する

判断できる人材

経験と知識を育てる

AIネイティブ化とガバナンスを一体で進める

産総研の皆さまと、このテーマの実践・検討を深めていきたいと考えています。

AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.

AI共創総研：攻守両面から企業を支援

これまで

守りのガバナンス

AIリスク管理
ルール・評価基準・体制の整備

今後の支援方針

AI活用の設計・実装

SIer組織の立ち上げを進め、
業務へのAI実装まで支援を広げます。

AI活用とガバナンスの両面で、ぜひご相談ください。

AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.

登壇者および所属企業への問い合わせはこちら

登壇者(藤井)
Xアカウント

弊社問い合わせページ

AI共創総研
AI Management Research Institute

© 2026 株式会社AI共創総研. All rights reserved.



Confidential

THANK YOU

© 2026 AI Management Research Institute. All rights reserved.

AI共創総研
AI Management Research Institute